

生活向上委員会

【排泄】

□年間目標

～排便はトイレで！リハパン内便失禁0を目指す～

□活動報告

- ・排便のリズムや便の状態を把握する
- ・各利用者の下剤の把握と見直し
- ・自然排便を促すための提案や意見交換。
- ・持ち回りでの排便にまつわる勉強会。
- ・オリゴ糖の導入と経過報告。

□評価

オリゴ糖の効果は定かではありませんが、この取り組みにより利用者のリズムを知ること、失禁せずにトイレ内での排便が確認できることへの意識づけが出来ました。入居者をより深く知る一歩に繋がったと思います。

【入浴】

□年間目標

～生活リハ浴（あったかや）を施設全体の50%以上の入居者が利用する～

□活動報告

- ・全ユニットで生活リハ浴と機械浴を使用する曜日の調整。
- ・外部講師による生活リハ浴研修を施設内で実施。
- ・委員会メンバーによる入浴事故防止研修を実施。
- ・入浴マニュアルの更新

□評価

入居者50%以上は未達成。

目標の50名を1週間で2回使用することを考えたときの問題点として

1. 他の浴槽よりも1人にかかる時間が長い
2. 時間と曜日が決められている
3. 使用できる物理的な人数に限られる

4. ADLや状態変化に伴う使用浴槽の変更

5. 職員の技量、知識不足

と、様々なことを考えていく必要があります。

ただ前提として「自分で入れる（入った気持ちになれる）気持ちのよいお風呂」であることが大切です。

であれば50%以上の人数ではなく、50%以上の稼働率という考え方の方が目標としては現実的だと感じました。

【委員会の総括】

初めての委員長就任で年間をどう進めていくか悩みました。

与えられた目標は私にはとても大きく、1時間の中で2大介護の話を両立させ進行するには時間が足りず、自分の段取り不足もあり難しかったです。

お年寄りが対象ということもあり、効果に即効性がないことから途中からマンネリ化しているようにも感じました。

下半期に至っては入浴マニュアルの更新や生活リハ浴を使いやすくするための話し合いが主で、目標に対する話し合いがおろそかになってしまったことは反省点です。

次年度以降また委員長になる機会があれば、より具体性のある目標を掲げるところから携わっていきたいです。

食事向上委員会

食事向上委員会での取り組みでこの一年間、おいしく食べるにはいくらおいしい食事でもおなかいっぱい状態ではおいしいと感じることが出来ないで、①食分量、トロミの見直しを行い、委員会メンバーのかたは旬のものを食べてほしいとの意見が多かったので、②毎月食レクの実施を行っていただき、他ユニットの食レクの内容を共有することで、自ユニットでもやりたい、トロミ食の人もこうすれば食べることができるとアイデアの共有、刺激になればと思い実施の報告も行っていただきました。③食事の姿勢ですが、車いすではなく、その人に合った椅子の高さ、テーブルの高さでの食事を行うために下腿長を測ることもしましたが、その次へと進展させることが出来なかったのが残念でした。

そして、委員会メンバーでメニューを決め、定期的に昼食にご当地料理を入れていただくことを行いました。入居される前は旅行が好きだったが今ではなかなか行くことが出来ない、ここにいてもいろんな料理を食べられるようにしたいとの思いと、利用されている方に好きな食べ物を聞いても「とくにない」と答えられる方が多いので、ご当地グルメの提供を行い、その料理を食べたことがあるか、作っていたか、作ったことがあるならどんな調理法か、その料理は好きか、〇〇県に旅行とか行ったことあるかなど思い出を聞き、家庭によって味付けや具材は違うのでコミュニケーションを図り、好きなものを見つけるきっかけになればと思い行ってきました。小さな声掛けで食事はより美味しくなるのかなと私は思っているので、今後も食事提供時にただ配膳するのではなくほんと小さな声掛けをこれからも行って行ってほしいと思います。あまり料理をしない私では食事向上は難しかったですが、委員会メンバーのかたに助けられた1年でした。ありがとうございました。

看取りケア向上委員会 活動報告

《年間目標》

1. 他職種がそれぞれ専門性を発揮し、個別に応じた看取りケアができる
2. 看取りケアを通して、入居者様の自己実現を援助する

《活動内容》

毎月行っていたもの…人生の最期にやり残した事のないよう、自己実現シートというものを作成・活用し、行きたい場所や食べたい物などを一緒に考え、実現できるよう援助していく為に、他職種で計画を立てていきました。

- 4月 ・看取りケアに移行された方を再確認し、どのようなケアを行っているのかを確認し意見を出し合う
- 5月 ・夜間帯での対応の再確認 ・介護士ができる非薬物ケア（安楽な体位や、マッサージ、湯たんぽの方法）
- 6月 ・状態が変化していく時の観察のポイント（血圧や呼吸状態がどのように変化していくのか）
- 7月 ・エンゼルメイク（最期のケア）について、意味と手技、物品の見直し
- 8月 ・お召し物(退所される際に着て頂くお洋服)の保管方法や細かい取り決め
- 9月 ・偲びのカンファレンス（お亡くなりになった方を偲び、他職種で良かった事、辛かった事を共有する場）の意味や進め方 ※今年度より、進行方法や内容に関して数か所変更あり
- 10月 ・職員の振り返りシートの作成、活用方法 ※今年度より新たに作成
- 11月 ・12月の職員向けの課内研修について、意見を出し合う
- 12月 ・課内研修
- 1月 ・グリーフケア（大切な方が亡くなった後の、様々な喪失を経験し、深い悲しみを抱える方に心を寄せ合い、立ち直り希望を持つことが出来るように援助、支援する事）について、深く学ぶ ・あったかの家で行っているグリーフケアについて
- 2月 ・今年度より、内容が数か所変更となった、偲びのカンファレンスや職員の振り返りシートなどを、実際活用してみて感じた事、改善点等を話し合う ・薬剤を使用した苦痛症状の緩和ケアについて

《総括》

施設が看取りケアを開始してから、委員会として活動するのは今年度が初めてとなります。

職員一人一人が自信を持って看取りケアが行えるように、看護師を中心に、お身体の変化や、今までのケアの振り返りを中心に活動してきました。

また、入居者様の人生に寄り添い、孤独を感じさせないケアをするためにはどうしたらいいのかを考え、意見を出し合ってきました。

毎月委員会の中で【自己実現シート】と言うものを活用し、様々な計画を立てました。

入居者様自身が《どのような最期を望まれるのか》というところに焦点を置き、職員も自分自身に置き換えて考えてまいりました。実際、「美術館に行きたい」とご希望があった利用者様がおり、介護職員を中心にまずは離床時間を増やし、近くのスーパーへ月1回買い物にお連れし、外出の機会を増やしていきながら、昨年11月に職員付き添いの元、美術館へ行く事ができました。その他にも、お若い頃得意料理だった『ハヤシライス』を、

職員と一緒に料理させて頂いたりしました。昔を思い出し、笑顔が溢れるひとときで、職員もとても嬉しい時間でした。

このような関わりを通して、あったかの家で最期まで笑顔で過ごして頂く為に、質の高い看取りケアが実施できるよう、来年度以降もより深く看取り介護について学んでいきたいと思いをします。

2019年度リスク委員会活動報告

◎本年度の主な活動目的

- ①職員間にポジティブリスクについて理解を深めてもらい意識の向上を促す
- ②上半期の虐待防止研修及び下半期のリスク研修に向け準備を進める
- ③拘束状況解除に向けて進捗状況を把握し議論する

◎活動状況報告

・まず各委員にポジティブリスクの理解を深めてもらうため資料の読み合わせや、自分のユニットで起きた事故報告をもとに議論し意識を高めてもらった。また、各自ユニットのMTにて事故評価をし委員が主導し職員間でリスクへの意識を高めるよう促した

・上半期課内研修では虐待防止の為の自己評価シートを使用し職員に対し意識の向上、再確認をしてもらった

・下半期課内研修では当施設でのポジティブリスクの考えを発信し、資料配布と転倒事故アセスメントシートを用いて実際に起きた事故を基にポジティブリスクの観点から考えてもらうよう促し、ある程度全体に浸透された。

・拘束についてはご家族様と話し合いがなかなか進まず、進捗状況把握するに留まり継続されている状況

・センサー類の使用状況を毎月確認し可否を協議確認、全体としては故障等もあるが使用しているセンサーは減った。

・痣報告について再考提案したが委員会が開けなくなり来年度の課題とする。

課内研修転倒事故アセスメントまとめ

- ①性格的に穏やかなら何かあったら呼んでくださいな声掛けもあり
 - ②本人と話し合い居室の床を絨毯、畳等に変更
 - ・居室付近通るたびに声掛け確認
 - ③部屋の外に椅子や滑り止めを置き靴を履いて出てくるよう環境を整える
 - ④靴下の滑り止めをつける。室内履きも
 - ・絨毯をけが防止のため敷く
 - ⑤滑り止め靴下にする、物を片付ける、滑りにくいマットを敷く、部屋履きの検討
 - ⑥部屋用シルバーカーを用意、床にじゅうたん、部屋履き
- その他

荷物の整理、カーブミラー設置、センサー設置、柵に鈴

主体的な生活に合わせ居室の環境を一緒に見直す（一緒に絨毯を買いに行く等）

起床時滑り止め靴下が一番上になるよう統一した声掛けを考える

伝え方に工夫も

*回答の全体的なまとめ

Cの観点からの考察が未記入が多かった（6枚）

総合的な防止策の未記入が4枚あった

- ・研修の時間配分にもんだいがあった可能性もある
- ・単純にそこまで考えが至らなかったか
- ・Cの観点（職員の状況）はあまり重要視されていないのかが考えられる

全体的には色々な考えが出てきて良かったと思われ短絡的にセンサーという回答は少なかった。また職員の責任を問う意見もなく全体で取り組む姿勢が見え行動を制限する回答もなく考え方的には施設の考え方が浸透しているのではないかな？と感じた

来年度に向けて

- ・引き続きリスクアセスメントを定着させるために発信を続けていく
- ・痣が多数報告されていることもあり痣に対しての取り組みと痣報告のあり方を今一度考えなおす

*委員一人ひとりの協力もありおかげさまでこれまでのの目的は達成できたと思います。一年間お付き合いいただきありがとうございました。

2019年度 マイアクティビティ委員会 活動報告

マイアクティビティの1年間の活動は、入居者の楽しさ+社会参加+夢の実現を目標に、施設長・ユニット職員9名+他職種2名、計12名で行いました。

	内容	担当	コンセプト
4月	お花見	各ユニット	季節感を味わう
5月	春のツアー・居酒屋	育ユニット	入居者の願いを形にする外出
6月	運動会	清ユニット	誰もが活躍の場 入居者・ご家族・職員でのユニット対抗
7月	流しそうめん・居酒屋	全委員	季節感を味わう 他の人との交流
8月	ビアガーデン・夕涼み会	和ユニット	季節感を味わう 他の人との交流
9月	居酒屋	清ユニット	他の人との交流
10月	秋のツアー	温ユニット	入居者の願いを形にする外出
11月	バザー・居酒屋	笑ユニット	入居者の地域交流と社会参加
12月	キャロリング	全委員	季節感を味わう 昔を懐かしむ
1月	獅子舞	中止	季節感を味わう 昔を懐かしむ
2月	節分	全委員	季節感を味わう 昔を懐かしむ
3月	居酒屋	中止	

○4月（お花見）

施設から徒歩5分くらいのところに桜が咲いている並木道や公園に各ユニットで入居者をお連れし、写真撮影をしたり、おやつや飲み物を持参し、飲食したりと非日常を楽しみました。

○5月（春のツアー・バラ園と回転ずし 居酒屋）

当日は30分くらいで現地に着くも、駐車場が混雑していてなかなか駐車できなかったり、トイレが故障していたり、いろいろなハプニングがありましたが、きれいなバラがたくさん咲いているのを鑑賞し、ゆったりとした時間を過ごすことができました。

バラ園の後は朝霞にあるはま寿司に行き、入居者自身でメニューの中から召しあがりたいたいのを頼んでいつも見られないとても美味しそうな満足した笑顔を見ることができました。

5月中旬に今年初の試みである居酒屋を定期的（2か月に1回）にオープンすることにしました。居酒屋は入居者の夢の実現「お酒が飲みたい」「居酒屋の雰囲気が好きなの」など、そんな入居者を各ユニット2名くらい参加してもらい、なんと5月は手作りのたこ焼きで、チーズ焼きやたこ、甘いたこ焼き、そしておつまみ、鮭、ノンアル、ジュースなど、夕食後だったのですが、たくさん召し上がり、好評でした。

○6月（あったか運動会）

今年で5回目。当時は雨でしたが、施設の4階ホールで使用し、1日かかりで午前の部は3競技、午後の部は4競技を行いました。（応援合戦、職員競技）

全員入居者参加を目標に5ユニットで順位をつけ、商品や賞状（トロフィー）を用意し、とてもとても熱い戦いをし、ご家族もたくさん参加してくださいました。

○7月（ながしそうめん 居酒屋）

流しそうめんは施設の1階玄関前で暑い夏の日、竹を使い、おいしいそうめんを交代で召し上がって頂き季節感を味わいました。

第2回目の居酒屋はまた同じ時間で夕食後、1階事務室前にて、前回参加できなかった入居者に参加していただきました。2回目は焼き鳥でした。

○8月（ビアガーデンと夕涼み会）

8月第1土曜日の夕方から4階のバルコニーで花火を鑑賞し、（朝霞と戸田）ホールでは、お菓子取りゲーム、ボーリングを楽しみ、美味しいおつまみや飲み物を召し上がっていただき、「夏」を楽しんでいただきました。

○9月（居酒屋）

第3回目の居酒屋は、「秋の野菜」をテーマに、美味しいナスなどのおつまみが提供されました。

○10月（秋のツアー）

今年は2回ツアーを行い、なんと志木から池袋まで、バスを1台チャーターし、職員+入居者の19名で、サンシャイン水族館とかっぱ寿司に、無事に、安全に行くことができました。

入居者の「水族館に行きたい」との希望を現実には当日は、たくさんの魚たち、クラゲの水槽、アシカショーなど、ちょっと暗闇で怖がった入居者もおられました。帰りはかっぱ寿司で昼食を食べ、大満足な1日を過ごすことができました。

○11月（バザー）

あったかバザーは今年で8回目となりました。地域交流・社会参加を目的に3か月前からチラシを掲示しご家族に告知し、近隣の方にご案内を投函し、家にある不用品を寄付していただき、地域交流することができました。

当日は芋煮、カレーパン、食品、日用品などの他、入居者の手作りセーターやコースター等も出品し、販売も手伝っていただきました。近隣の焼き菓子のお店の出品もあり、バザーの売り上げは合計68600円となりました。入居者様のために使わせていただきました。

○12月（キャロリング）

各ユニットを夕食時に回り、ギターとサックス演奏、聖歌隊と一緒に歌を歌い、入居者の方々がうっとりしながら鑑賞されている姿を見て、いいクリスマスになったと心から思いました。

○1月（獅子舞）インフルエンザ対策のため中止

○2月（節分）各ユニットに3人の鬼が回って、入居者は鬼にカラーボールをぶつけ、鬼を退治する、というレクにて木背う感を味わい、昔を懐かしむことができた1日となりました。

○3月（居酒屋）コロナ対策のため、中止。

来年度も入居者の夢の実現・社会参加・楽しさを考えて活動していきたいです。